

## 第1回伊豆の国市公共施設再配置計画策定検討委員会 議事録

- 1 日 時 平成29年1月31日(水) 午後1時30分～午後5時00分
- 2 場 所 あやめ会館 3階 多目的ホール
- 3 出席者 小野登志子伊豆の国市長  
委 員 鈴木忠治委員、西島瑞毅委員、相原昇明委員、渡邊公人委員、  
藤本文彦委員、青崎美代子委員、菊池嘉文委員、内山守委員、  
西島弘一郎委員、服部恵美委員、八谷康近委員、大沢秀光委員  
鴨下記久枝委員、武田友良委員、大淵三洋委員、井川文雄委員  
(川口良子委員は欠席)  
傍 聴 3名(うち報道関係者3名)  
事務局 田中市長戦略部長、神田市長戦略部参与、渡辺まちづくり政策監兼  
都市整備部参与、天野課長、野田係長、小嶋副主幹、前田主査

### 4 内 容

1. 開会
2. 委嘱式
3. 市長挨拶
4. 委員自己紹介
5. 会議の進め方について
6. 委員長、副委員長選出
7. 委員長、副委員長挨拶
- ～ 休憩 ～
8. 議題
  - (1) 再配置計画策定の目的について
    - ①公共施設等総合管理計画について
    - ②再配置計画策定の目的について
  - (2) 再配置計画策定の進め方及び策定までのスケジュール(案)について
9. その他
  - (1) 次回開催日について
10. 閉会

1. 開会

2. 委嘱式

会議に先立ち、委嘱式を実施（市長より委嘱状を交付）

3. 市長挨拶

小野市長より挨拶

4. 委員自己紹介

委員より各自自己紹介（資料1-1）

初回のため職員も自己紹介

※自己紹介終了後、小野市長退席

5. 会議の進め方について

事務局から資料1-2に基づき説明

- 委員会設置の趣旨、委員の任期、正副委員長の選出方法、会議の進行方法、会議内容の公開及びその方法、傍聴規程などについて

6. 委員長、副委員長選出

互選により、委員長、副委員長選出

委員長 西島 瑞毅 氏

副委員長 川口 良子 氏 に決定

7. 委員長、副委員長挨拶

委員長より挨拶

## 8. 議題

### (1) 再配置計画策定の目的について

#### ①公共施設等総合管理計画について（資料1-3）

(委員長)	<p>会議が円滑に進みますように皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>議題（1）再配置計画策定の目的のうち、①公共施設等総合管理計画について事務局の説明を求める。</p>
(事務局)	<p>事務局から資料1-3に基づき説明</p> <p>●再配置を検討するきっかけとなった公共施設等総合管理計画について、計画の構成に沿って順に内容を説明</p>
(委員)	<p>三点質問する。</p> <p>一つ目は、昨日もらった議会だよりに掲載されていたが、市の歳出の削減策は公共施設の統廃合と情報システムによる事務の効率化となっており、この歳出削減策を前提にこの委員会は成り立っているのか。</p> <p>二つ目は、去年の広報11月号で平成27年度の扶助費が37億3572万円となっているが、公共施設の整備費用というのは広報の資料で言うところの歳出に入っているのか。</p> <p>三つ目は、資料9ページにコストの抑制と平準化とあるが、これは受益者負担のことか。</p>
(事務局)	<p>1つ目について、統廃合など再配置の取組が必要な理由としては、歳出削減などの財政状況に関する以外にも、少子高齢化により公共施設に対するニーズが変化していくことや、合併により重複することになった施設の整理からの必要性ということもある。</p> <p>2つ目について、公共施設の整備費用は広報の資料で言うと、普通建設事業費の中に含まれる。また、資料1-3の5ページ上段の表の中で言うと、青色の投資的経費に含まれる。</p> <p>3つ目について、ここでいう平準化としては、今後のインフラ資産の更新が、ある一定時期に集中するのを防ぐため、長寿命化により平準化を進めるという意味である。</p>
(委員)	<p>例えば、資料の10ページで、市民文化施設の大仁市民会館は建築後40年を経過し耐震性も不足ということで、施設を移転するような方針が出ているなど、この計画では耐震性の不足や、建築年数からの老朽化</p>

	<p>という事で公共施設の必要性を判断している様だが、それだけで判断するのは不適切である。</p> <p>例えば、耐震性が無いのであれば耐震補強して使う事もできることから、本来は利用の状況で判断すべきではないか。</p>
(事務局)	<p>ご意見のとおり、建築年数や耐震性だけで公共施設の必要性を判断するのでは無く、施設の利用状況や市施策の役割に対する適正、今後のニーズの見込みなど、さまざまな視点からの検討が必要になると考えている。</p> <p>また、統廃合だけでなく複合化などについても、再配置計画の中で考えていきたい。</p>

②再配置計画の目的について（資料1-4）

(委員長)	<p>議題（1）の②再配置計画策定の目的について、事務局の説明を求めめる。</p>
(事務局)	<p>事務局から資料1-4に基づき説明</p> <p>●公共施設等総合管理計画において、公共施は今後の更新等費用を30年間で33%削減するという目標を立てたが、目標達成については、集約化、複合化、多機能化、廃止などにより総量の適正化を図っていくことなど、再配置に関する検討が必要となり、今後の公共施設の再配置を効果的かつ効率的に推進していくことを目的として公共施設再配置計画を策定することになった旨を説明</p>
	<p>意見、質問なし。</p>

(2) 再配置計画策定の進め方及び策定までのスケジュール(案)について(資料1-5)

(委員長)	<p>続きまして、議題(2)再配置計画策定の進め方及び策定までのスケジュール(案)について、事務局の説明を求める。</p>
(事務局)	<p>事務局から資料1-5に基づき説明</p> <p>●再配置計画策定の進め方とともに、検討事項の実施時期や検討委員会の開催時期などを説明</p>
(委員)	<p>浮橋に移住し住んでいるが、大仁東小学校や大仁東幼稚園など、市の東側にある公共施設が無くなってきている。</p> <p>定住した者としての意見を求められることがあるが、不便ですとしか言いようがなく、困ることがある。</p> <p>確かに、人口が減少しニーズが無くなってきているという事もあるのかもしれないが、子供たちに負担がかかっていることも事実である。</p> <p>この再配置の話を進めて行く中で、例えば統合する代わりにバスを走らせるなど、フォロー策についても検討していただきたい。</p>
(事務局)	<p>今後の財政状況の見通しが厳しく、統合や廃止を検討することについては一定の理解が得られるものの、フォローの話を作っていないと、市民の皆様にも受け入れられる話になっていかないと考えている。</p> <p>再配置にあたって統合や廃止を検討する際は、フォロー策についても併せて考えていく。</p>
(委員)	<p>様々な立場から委員が選出されているが、6回の会議で意見がまとまるのか。</p> <p>また、現地踏査を行うという際は、途中参加も想定されるため、事前にスケジュール等の提供をお願いしたい。</p>
(事務局)	<p>市としては、再配置計画としてまとめていくため、現時点では6回の会議が必要であると考えているが、進行の状況によっては変更も考えていく。</p> <p>また、会を代表していただいている委員については、8月に予定している再配置モデルの検討を目途に、会の意向を確認・聞取りしていただくことを予定している。</p>

	<p>また、現地踏査のスケジュールについては事前にお知らせさせていただく。</p>
(委員)	<p>例えば図書館の統合を考えると、中央図書館と蕪山図書館で検討していくことになるが、規模としては中央図書館の方が大きいものの、利用者数では蕪山図書館の方が多いようなこともあるので、統合していく際の判断基準などの提供をお願いしたい。</p>
(事務局)	<p>再配置のためのルールや基準を作った上で再配置を行っていくことを考えている。</p>
(委員)	<p>第3回に現地確認を予定している中で、対象となる公共施設は100を超えるようだが、どのように行うつもりか。また評価についてもどのように考えているか。</p>
(事務局)	<p>現地踏査については、例えば施設タイプの代表的なものや課題を抱えているものなど、主要施設にポイントを絞ってスケジュールを組んでいく予定である。</p> <p>公共施設の評価資料などについては、一覧で見えていただけるようなものを考えている。</p>
(委員)	<p>公共施設の削減などの方向性はやむを得ないと思うが、そういった中で民間を使っていくということも必要ではないか。</p> <p>市内には旅館などのハコモノがあるので、空いている部屋を上手く利用できるような仕組みを作り、市も実際に使った分だけ料金を支払うというようなアイデアもあるのではないか。</p> <p>行政がハコモノを作り、それを維持管理していくということだけでは無理があり、どうしても行政がやっていかななくてはいけないことは別として、民間のものを利用していく。</p> <p>そうすれば、わざわざ遠くへ行かなくても、近くで歩いてサービスを受けられるものができるきっかけにもなるのではないかと思う。</p>
(事務局)	<p>評価の中で、サービスの提供主体が行政なのか、民間にも任せて行けるのかという事も考えていく。</p> <p>また、まちづくりの施策の観点から残していかなければならないものもあることから、施設類型ごとの特色や役割を十分に見極める中で、再</p>

	配置計画を立てていかなければならないと考えている。
(委員)	<p>公共施設等総合管理計画は削減という部分が強調されているが、これからは人口が減少するため、当然、縮小はするのだが、それが充実したものでなくてはならない。</p> <p>したがって、再配置計画については削減という暗い考え方ではなく、縮充という考え方を念頭に置いて、取り組みを進めて行った方が良い。</p> <p>また、検討委員会を6回開催した後にパブリックコメントを実施することだが、その後、また検討委員会を開くようなことはあるか。</p>
(事務局)	<p>まず、縮充の話については、まさにそういう方向で考えていくことになると思う。</p> <p>また、11月に委員会としての再配置計画(案)の報告書を市長へ提出いただき、その後パブリックコメントを市で実施する予定である。</p> <p>また、パブリックコメント終了後の再配置計画については市が責任を持って策定することで考えている。</p> <p>あくまで、委員会の皆様には再配置計画(案)までを作っていただくことで考えている。</p>
(委員)	公共施設等総合管理計画には上位計画が絡んでくると思うので、それらに変更があった時などには、柔軟に計画を変えていただければと思う。
(事務局)	計画の変更については柔軟に対応させていただく。
(委員)	<p>社会教育委員会では、以前、社会教育施設や体育施設のあり方について市から諮問され、1年半ぐらいかけて答申をしたが、今回は市により設置された委員会により6回の会議で検討が進むことから、委員がしっかりと色々な意見を出して行く必要がある。</p> <p>それから、長岡図書館の廃止について、社会教育委員会で答申をしたが、本を配達するシステムなどフォロー策について検討することが必要である。</p>
(事務局)	会議の開催は2ヶ月に1回程度、全部で6回を予定しているが、初めての計画でもあり、必要があれば開催回数などの変更もお願いすることになると考えている。積極的な意見をお願いしたい。

(委員)	<p>33%の削減という事で、やむを得ないとは思いますが、再配置を考えていく時に、位置としてや使い勝手などは十分考慮した上で、利用者目線で検討していくことが必要である。</p> <p>また、このような内容のものは、過去の例だと急に物事が決まってくるようなイメージを持つのだが、計画ができてしまうと後戻りができないので、作っていく過程を市民に見える形で進めた方が良いと思う。</p> <p>また、会議の開催計画はできるだけ年間を通して予定を立て、進めていただきたい。</p>
(事務局)	<p>会議を公開で実施していることや会議の検討結果については、ホームページや広報等でお知らせしていく。</p> <p>また、この会議の最後に次回会議日程もつめていくので、委員の皆様も会へ戻ったら、公開でやっていることをお知らせしていただきたい。</p>
(委員)	<p>伊豆の国市としてどういうまちづくりをしていくのか、市民も公共施設をどのように利用していくのかを考えていかないと、3つあった施設が2つになっていくというような、さみしいものになっていく。</p> <p>先程、民間の活用の話があったが、そういう観点も大事になっていく。</p> <p>利用する市民の立場から、どういう施設があった方が良いのか、あるいはどうやったら利用しやすい施設になるかを考えていかないと、本当の公共施設になっていかない。</p>
(事務局)	<p>まちをどうやって作っていくのかという目線や、公共施設を使う側の目線で考えていくことも必要であり、それぞれ評価項目の検討の中で参考にさせていただく。</p>
(委員)	<p>公共施設等総合管理計画は平成28年3月に策定され、1年近く経過しているが取組が遅いのではないか。</p>
(事務局)	<p>公共施設等総合管理計画については平成28年の3月に完成し、8月に韮山、大仁、長岡の3カ所で2回ずつ延べ6回、市民説明会を開催させていただいた。</p> <p>その後、再配置の取組については委員会の立ち上げや施設の個票を用意することなど、準備に時間を要した。</p>
(委員)	<p>先程、民間活用の話の中で、旅館の話があったが、部屋が空いていれ</p>



	<p>ばよいが、急な来客で空き部屋が埋まってしまう事もあるため、協力してもらえると旅館が増えれば可能と感じた。</p> <p>また、人にやさしいまちづくりを目指していかないと、観光客や定住者も増えていかないと考えられることから、公共施設も減らすことだけでなく、必要なものは残していくことを考えていただきたい。</p>
(委員)	<p>33%削減については一定の理解はするが、施設の利用については、近くにあるから利用しやすいという観点も大事になる。</p> <p>また、関係団体の代表者は会の意見を取りまとめるとのことだが、会の意見聴取のための資料を提供していただきたい。</p>
(事務局)	<p>利便性への配慮については、評価や再配置のルール作りの中で検討していく。</p> <p>また、会の意見集約をお願いする上で、資料提供が必要であると考えている。</p>
(委員)	<p>人口を増加させる施策という観点で、別の計画はあるか。</p>
(事務局)	<p>平成 28 年 2 月に人口ビジョンとともに策定された、まち・ひと・しごと創生総合戦略があり、人口減少に対する対策を平成 28 年度から 5 年間で実施することとしている。</p>
(委員)	<p>この再配置計画は 30 年間と長期であり、ここで決めた教育施設の再配置の方向性について、今後、市長の交代によりその方向性が変化するようなことがあった場合、誰がどう担保するのか。</p>
(事務局)	<p>学校や社会教育関連施設について、今現在作られている計画や出されている答申の他、まちづくりの施策や地域性なども踏まえ、再配置を考えていく。</p> <p>また、担保ということではないが、現在の市長の学校教育施設についての考えは、現状のとおり中学校は 3 つ、小学校は 6 つということ考えている。なお、幼稚園については園児が減少し、保育園については園児が増加しているという事があり、認定こども園を含めて幼稚園と保育園の統合を検討しているところである。</p>
(委員)	<p>菰山郷土史料館については中央図書館への移転が決まっているが、観</p>

	光や教育など多方面から検討を進めていただきたかった。単にものが減ればよいというものではないことを考えの中に入れて、今後の検討をお願いしたい。
--	--

9. その他

(1) 次回開催日について

●次回は平成 29 年 3 月 15 日（水）午後 1 時 30 分から開始と決定

10. 閉会 終了 午後 5 時 00 分

以上